

後志地域生物多様性協議会

設立：H26.3
所在地：黒松内町

団体の概要

「後志地域生物多様性協議会」は、後志地域の森・里・川・海の健全なつながりを保全・再生し、豊かな自然の恵みを活かした魅力ある地域を実現することを目的に、後志地域の15町村、2団体が集まって設立されました。

この目標を達成するために策定された「後志地域地域連携保全活動計画」に基づいて、イトウがのぼる川の復活、外来生物の防除、豊かな海の復活、自然の恵みを育む取組など、市民団体、企業、行政など多様な主体が連携して、活動しています。



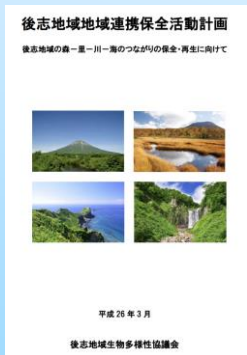
団体の取組

○後志地域地域連携保全活動計画

後志地域の森-里-川-海の健全なつながりを保全し、美しい景色や、おいしい水・空気、四季折々の海や山の幸などの自然の恵みの持続的な利用を通じて、自然と共生する魅力ある後志地域を実現するための取組をまとめた計画です。

平成26年3月に策定され、計画期間は、平成35年度までの10年間です。

後志地域を「後志地域全域」、地形や環境条件などの特徴に応じて3つに分けた「広域活動エリア」、活動の最小範囲となる「個別活動エリア」の3段階に分け、平成26年4月から、協議会に参加する市町村において、計画に記載された取組が行われています。



○外来種の分布調査

ウチダザリガニは、現在、後志地域では未確認ですが、一旦侵入すると根絶は極めて困難です。

もしも侵入された場合でも早期に侵入を察知し、初期段階で駆除することが重要です。

これまで、河川や湖沼などに生息する生き物の種類等を調べるには、潜水や採捕など多大な労力と時間、費用が必要でしたが、環境DNAという最新技術を用いることにより、バケツ1杯の水を採集することで、調査対象とする生物の在不在や種類、生息密度まで判定することが可能となりました。

この技術を用いて、後志地域のウチダザリガニの分布調査を実施しました。

